

移動博物館

博物館で行った調査研究の成果と、収集された資料を、より多くの市民に公開する機会を作るため、58年度から地区公民館を会場とした移動博物館を実施してきた。

59年度は、星を見る会「平塚のナウマン象」展、「平塚の野鳥」展をメニューとし、「博物館の出

前」をキャッチフレーズとして実施した。

(1) 平塚の野鳥展

生態写真と剥製標本を中心に平塚に生息する野鳥の種類と生態を紹介した。会場には担当学芸員および補助者1名が常駐して解説にあたり、また希望に応じて野外での野鳥観察を行った。

生態写真については58年度は新倉三佐雄氏、59年度には桑原健次氏の協力をえて、原版を借用し、全紙大のカラーパネル合計40枚を作成した。

○展示物

	生態写真	剥製	骨格	羽毛
旭北	36点	25点	2点	
松原	43点	34点	2点	4点

○会場および会期 次ページの通り

○出版物 ポスター B4版
リーフレット B5,4P

(2) 平塚のナウマン象展

平塚市上吉沢山田屋敷で産出したナウマン象及び鹿化石を中心として化石やローム層について、吉沢公民館を会場として展示した。会場には担当学芸員および協力者1名が常駐して解説を行った。会期は平日であったが、地元で産出した象化石のため、大変な人気であった。

また、吉沢小学校5、6年生74名を対象に3月7日午前中の1時間、象化石が発掘された現地で地層の観察と産出した骨化石について解説を行った。

○展示物 上吉沢産象・鹿化石32点、現生鹿骨7点、ニホンムカシジカ骨格、土屋産魚化石5点、土屋産植物化石4点、土屋産貝化石4点、土屋産鹿化石1点、他6点、計実物資料60点、写真及び解説パネル30枚

○出版物 ポスター B4版
リーフレット B5版8P
野外案内用リーフレット B6版8P

「平塚の野鳥展」1985年

会場	会期	入場者	野鳥観察会	備考
旭北公民館(玄関ロビー)	2月22日(金)~24日(日)	590名	1回(10名)	公民館祭
松原公民館(ホール)	3月16日(土)~17日(日)	80名	1回(12名)	

「平塚のナウマン象展」1985年

会場	会期	子供	大人	入場者計	現地見学会
吉沢公民館(ホール)	3月7日(木)~8日(金)	373	96	469名	74名